各会員代表者 殿

社団法人 国立大学協会 専務理事 赤岩 英夫

国立大学法人の計画及び評価に関する調査について(依頼)

去る 11 月6日の総会で報告したとおり、本協会調査研究部では、平成 18·19 年度のプロジェクトとして、「目指すべき国立大学法人像」の提案を取りまとめる予定としております。

今年度は、上記プロジェクトの一環として、「国立大学法人計画・評価ハンドブック(仮称)」を作成することとし、この作成過程での調査を通じて、各大学の計画策定の現状、業務実績評価の視点等の把握が可能と考えました。

つきましては、上記ハンドブック(仮称)の骨子案(別添 1)をご参照の上、国立大学法人の計画及び評価に関する調査(別添2)に入力し、2月28日(水)までに下記担当宛ご回答くださるようお願いいたします。

なお、アンケート項目の中には詳細な点にわたってお聴きするものもありますが、情報の管理には十分配慮した上で分析を行い、報告書として各大学にお知らせいたしますので、可能な限りご回答くださるようお願いいたします。

また、本調査研究部の活動は、基本的に本協会の各種委員会が実施したアンケート結果等を活用することとしておりますが、本件調査は、現時点で把握しているデータが十分ではないことから、別途ご依頼するものであることを申し添えます。

<本件担当>

(社) 国立大学協会

企画部(国際・調査研究)牧野、樋口 TEL:03-4212-3513、3516

FAX: 03-4212-3519 E-mail: chosa@janu.jp

国立大学法人計画・評価ハンドブック(仮称)骨子案

2007年 月

はじめに一ハンドブックの趣旨と目的

- 1. 国立大学法人の計画と評価-3年間の運営を通して-
 - (1) 国立大学の中期計画・年度計画の概略
 - (2) 年度業務実績評価の動向
 - (3) 計画と評価をめぐる課題
- 2. 国立大学法人の計画と何か
- 3. 計画策定のための準備作業とは何か
 - (1) 自分の大学の特性を知る(自己点検評価)
 - (2) 外部環境を調べる
 - (3) 政策動向を理解する
 - (4) 内部の状況を把握する
 - (5) 大学の将来構想と戦略目標を練る
 - (6) 第1期計画の強みと弱み・課題を明確にする
 - (7) 構成員・利害関係者の合意を得る
- 4. 計画策定作業とは何か
 - (1) 計画立案の責任体制を明確にする
 - (2) 全学と部局の関係を明確にする
 - (3) 目標を明確にする
 - (4) 目標達成の手順を明確にする
 - (5) 必要な資源の見積もりを行う
 - (6) 最終目標・中間目標の評価指標を決定する
 - (7) 目標・施策・事業・必要な資源・評価方法を決定する
 - (8) 学内の各級管理者での合意を得る
- 5. 計画を実行に移すとは
 - (1) 実行計画の策定と実施
 - (2) 予算と計画との関係
 - (3) 実施状況の点検方法
- 6. 年度計画の評価作業
 - (1) 評価の目的は何か
 - (2) 評価の方法にはどんなものがあるか
 - (3) データの収集・分析・利用方法
- 7. 計画と評価をめぐる論点
 - (1) 計画と評価をどうつなげるか
 - (2) 多様な評価(自己点検評価, 認証評価)と法人評価との関係は
 - (3) 評価と資源配分との関係をどう考えるか

むすび

*各章に具体的な参考事例を3~4掲載。

国立大学法人の計画及び評価に関する調査 (社)国立大学協会 調査研究部

この調査は、4年目を迎える国立大学法人の計画と評価による運営の状況を把握し、課題を整理するとともに、具体的な事例を紹介して、各国立大学法人の運営に資することを目的とするものです。

中期計画期間もすでに半ばに達し、教育研究の質の向上に関する事項の評価方法も提示されました。今期の中期計画の運用を踏まえ、毎年度の計画・評価の改善を進めるとともに、次期の中期計画のあり方を検討する時期に入っています。(社)国立大学協会調査研究部では、そのための基礎作業として、この調査を企画しました。ご多忙のところ誠に恐縮ですが、ご協力方よろしくお願いいたします。

ご回答をお願いするに当たって

(社)国立大学協会 調査研究部

- (1) この調査回答ファイルは、各大学に1通お送りしています。 回答は、白色欄は文字を入力、その他の回答欄は選択肢からひとつ選択してご回答ください。
- (2) 記入者は、基本的に学長にお願いしますが、担当責任者の情報をご利用下さい。
- (3) 調査回答ファイルは、平成19年2月28日(水)までにご返送ください。
- ●ファイル名

ファイル名は大学名を付けた形でお願いいたします。 例: 口口大学. XIs

●回答メールのタイトル「計画及び評価に関する調査(○○大学)」としてください。

●問合せ先・返送先

担 当 者	社団法人 国立大学協会企画部(国際・調査研究)
	牧野・樋口
電話	03-4212-3513、3516(直)
e-mail アドレス	chosa@janu.jp

(4) 本調査に当たっては、ご回答に基づき、統計的な処理を経て「アンケート結果」を作成します。 その際、大学名を公表不可と回答した大学につきましては、大学名を特定する形で報告することはありません。 また、作成した結果は、ご回答いただいた全国立大学法人等に送付いたします。

貴大学名						▼ボタンをクリックすると 大学名リストが表示されます。
大学名公表諾否				○諾	〇 否	諾否を選択してください。
記	部		署			部署をご記入ください。
入 者	役		職			役職をご記入ください。
担	氏		名			氏名をご記入ください。
当責	Т	E	L	_	_	電話番号をご記入ください。
任者	F	Α	Х	_	_	FAX番号をご記入ください。
)	e-ma	ail アドレ	ス			メールアドレスをご記入ください。

回答シート 3 / 11

『ご回答に当たって』シートの大学名を選択してください!

※文字回答欄内の改行は【Alt】キーを押しながら【Enter】キー を押してください。

1. 各大学の長期目標・ビジョンの有無

中期目標·計画	の根拠となる	長期のプラン	⁄を有してし	ヽますか。
---------	--------	--------	--------	-------

○ 1. あり	○ 2. なし	○ 回答を取り消す
---------	---------	-----------

2. 計画策定の現状について

中期計画には、大学全体(法人)および部局の活動をどのように盛り込みましたか。 次のカラムで、「**盛り込んだ**」場合は**〇**を、「**盛り込まなかった**」場合は×を選択してください。

	1	2	3	4
	大学全体	大学全体	部局の全活	部局の特色
	(法人)の全	(法人)の特	動	ある活動
	活動	色ある活動		
数本の母の白 にこ	0	0	00	0
教育の質の向上に 関する事項	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×
1X17 0 T - X	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
田本の母の白 トロ	0	0	00	0
│ 研究の質の向上に │ 関する事項	O ×	O ×	○ ×	○ ×
	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
業攻軍党の北美光がに	0	0	00	0
│ 業務運営の改善並びに │ 効率化に関する事項	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×
が中間に関うも手気	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
H 数 中 京 の 事 美 に	0	0	0	0
財務内容の改善に 関する事項	O ×	O ×	○ ×	○ ×
スプ サテス	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
スの仏衆双字ヴァ	0	0	00	O O
│ その他業務運営に │ 関する事項	○ ×	○ ×	○ ×	○ x
风 / 0 平久	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消

[→]ある場合、①その名称、②策定年月日、③決定主体、④活用の具体例 等が分かる資料をお送りください。

回答シート 4 / 11

3. 中期計画策定の仕方

(1)中期計画を策定した際には、全学と部局の関係をどのように調整しましたか。 次のカラムで、「**該当する**」場合は**〇**を、「**該当しない**」場合は×を選択してください。

- SOUND TO THE TOTAL	ランジロ ころり 引く アメーク・ア	・ 1・ 変 口 10・・・ 円 (を) へつ し くっこ	
	1	2	3
	トップダウンで作成した計画に部局の計画を記載させた	部局が作成した計画を統合して大学全体の計画と した	トップダウンで作成した計画と部局の作成した計画 の組み合わせ
	_		り起かられて
教育の質の白上に	\bigcirc \bigcirc	O O	O O
教育の質の向上に 関する事項	○ ×	O ×	O ×
スプリテス	〇 取消	〇 取消	〇 取消
四党の母の白 トロ	0 0	0	0
研究の質の向上に 関する事項	○ ×	O ×	○ ×
ね / サ / ス	〇 取消	〇 取消	〇 取消
要な写賞の北羊サバ に	0 0	0	0
業務運営の改善並びに 効率化に関する事項	○ ×	○ x	○ ×
が下口にはアッチス	〇 取消	〇 取消	〇 取消
H-変力索の事業に	0 0	0	0
財務内容の改善に 関する事項	○ ×	○ x	○ ×
スプ サ テス	〇 取消	〇 取消	〇 取消
スの仏衆双字ヴに	0 0	0	0
│ その他業務運営に │ 関する事項	○ ×	○ x	○ ×
1人の子気	〇 取消	〇 取消	〇 取消

(2)中期計画を策定した際には、文部科学省「国立大学法人の中期目標・中期計画の項目等について」 (平成15年7月)を利用しましたか。それぞれの利用の仕方について、その理由、メリット、デメリットをご記入ください。

こ記入ください。	利用の仕方 該当するOボタンを	理由、メリット、デメリット
	クリックしてください。	
	○ そのまま利用	理由
教育の質の向上に 関する事項	一部項目を 修正・削除	メリット
N/OFK	○ 独自に作成	デメ リット
	〇 取消	
	○ そのまま利用	理由
研究の質の向上に 関する事項	○ 一部項目を 修正・削除	メリット
スプ の 学ス	○ 独自に作成	デメ リット
	〇 取消	
	○ そのまま利用	理由
業務運営の改善並びに 効率化に関する事項	○ 一部項目を 修正・削除	メリット
効平心に関する事項	○ 独自に作成	デメ リット
	〇 取消	
	○ そのまま利用	理由
財務内容の改善に 関する事項	○ 一部項目を 修正・削除	メリット
スプ の 学ス	○ 独自に作成	デメ リット
	〇 取消	
	○ そのまま利用	理由
その他業務運営に 関する事項	○ 一部項目を 修正・削除	メリット
ᆝᄝᄁᄬᆓ	○ 独自に作成	デメ リット
	〇 取消	

(3)中期計画・年度計画を策定した際に、目標達成に至るプロセスを明らかにした上で、計画相互の関連付けを行いましたか。

それぞれ該当するカラムの〇ボタンをクリックしてください。

4 1 4 1 1 1 1 1 1 1						
	1	2	3	4	5	_
- ''						

回答シート 6 / 11

	回答シート					
	中期計画策 定時から実 施	平成16年度 計画から実 施	平成17年度 計画から実 施	平成18年度 計画から実 施	現在まで実 施せず	回答を 取り消す
教育の質の向上に 関する事項	0	0	0	0	0	0
研究の質の向上に 関する事項	0	0	0	0	0	0
業務運営の改善並びに 効率化に関する事項	0	0	0	0	0	0
財務内容の改善に 関する事項	0	0	0	0	0	0
その他業務運営に 関する事項	0	0	0	0	0	0
現在まで実施していない場合のでは、現代では、現代では、現代では、現代では、現代では、現代では、現代では、現代	に、具体的な	実施計画を策	定しましたか。			
	に、具体的な ムの〇ボタンを 1	実施計画を策 をクリックしてく 2	定しましたか。 ださい。 3	4	5 19.5 ± 5.45	_
4)中期計画を策定した際	に、具体的な ムの〇ボタンを 1	実施計画を策	定しましたか。 ださい。 3			- 回答を 取り消す
4)中期計画を策定した際	に、具体的な ムの〇ボタンを 1 中期計画策 定時から策	実施計画を策 シクリックしてく 2 平成16年度 計画から策	定しましたか。 ださい。 3 平成17年度 計画から策	4 平成18年度 計画から策	現在まで策	回答を
4) 中期計画を策定した際 それぞれ該当するカラ。 教育の質の向上に	に、具体的な ムの〇ボタンを 1 中期計画策 定時から策 定	実施計画を策 ミクリックしてく 2 平成16年度 計画から策 定	定しましたか。 ださい。 3 平成17年度 計画から策 定	4 平成18年度 計画から策 定	現在まで策 定せず	回答を取り消す
4) 中期計画を策定した際 それぞれ該当するカラ 教育の質の向上に 関する事項 研究の質の向上に	に、具体的な ムの〇ボタンを 1 中期計画策 定時から策 定	実施計画を策 をクリックしてく 2 平成16年度 計画から策 定	定しましたか。 ださい。 3 平成17年度 計画から策 定	4 平成18年度 計画から策 定	現在まで策 定せず 〇	回答を取り消す
4) 中期計画を策定した際 それぞれ該当するカラ. 教育の質の向上に 関する事項 研究の質の向上に 関する事項 業務運営の改善並びに	に、具体的な ムの〇ボタンを 1 中期計画策 定時から策 定	実施計画を策 をクリックしてく 2 平成16年度 計画から策 定	定しましたか。 ださい。 3 平成17年度 計画から策 定	4 平成18年度 計画から策 定	現在まで策 定せず 〇	回答を取り消す

回答シート 7 / 11

(5)平成16年度計画策定の際には、中期計画の年度進行計画として策定しましたか。 それぞれ該当するカラムの〇ボタンをクリックしてください。

	1	2	3	_
	全面的に 策定	一部策定	策定せず	回答を 取り消す
教育の質の向上に 関する事項	0	0	0	0
研究の質の向上に 関する事項	0	0	0	0
業務運営の改善並びに 効率化に関する事項	0	0	0	0
財務内容の改善に 関する事項	0	0	0	0
その他業務運営に 関する事項	0	0	0	0

策定した場合は、策定上の困難や課題は何でしたか。ご記入ください。	

4. 次期の中期計画のあり方について

(1)中期計画の今後のあり方として次のいずれが望ましいとお考えですか。 それぞれ該当するカラムの〇ボタンをクリックしてください。

	1	2	3	4	İ
	大いに賛成	大体賛成	賛成できな い	何とも いえない	回答を 取り消す
国立大学としての教育活動に重点を置く	0	0	0	0	0
国立大学としての研究活動に重点を置く	0	0	0	0	0
国立大学法人としての経営事項に 重点を置く	0	0	0	0	0
特色ある大学作りのための計画に 重点を置く	0	0	0	0	0
大学の全活動を対象にする	0	0	0	0	0

回答シート 8 / 11

(2)上に述べたあり方から見て、国立大学に共通な項目として必要と考えられるものをご記入ください。						
教育の質の向上に 関する事項						
研究の質の向上に 関する事項						
業務運営の改善並びに 効率化に関する事項						
財務内容の改善に 関する事項						
その他業務運営に 関する事項						

5. 業務実績評価について

(1)年度計画の業務実績評価に際し、どのような評価の視点を設定していますか。 それぞれ「**該当する**」場合は**〇**、「**該当しない**」場合は×を選択してください。 「その他」は、 内に事項をご記入ください。

	1	2	3	4	5
					その他
	実施の有無	計画の達成 度 	有効性	効率性	
教育の質の向上に 関する事項	00	00	0	0	0 0
	○ ×	○ ×	○ ×	○ ×	○ x
	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
研究の質の向上に 関する事項	00	O O	0	0	O O
	○ ×	○ ×	O ×	○ ×	○ x
	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
業務運営の改善並びに 効率化に関する事項	00	0	0	0	O O
	○ ×	○ ×	O ×	O ×	○ x
	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
財務内容の改善に 関する事項	00	0	0	0	0 0
	○ ×	○ ×	O ×	O ×	○ x
	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
この 山 类 攻 国 尚 に	00	00	0	0	O O
│ その他業務運営に │ 関する事項	○ ×	○ ×	○ x	○ x	○ x
いんプロナス	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消

回答シート 9 / 11

(2)年度計画の業務実績評	F価に際し、設定している評価の方法・指標について、その有効性をど	うお考えですか
※ご回答は、下のそれ・	ぞれについて、 セルをクリック→▼ボタンをクリック→リストから選択	の順に操作し、
選択てください。		
「その他」の場合には、	内に事項をご記入ください。	

		1 教育の質の 向上に関す る事項	2 研究の質の 向上に関す る事項	3 業務運営の 改善並びに 効率化に関 する事項	4 財務内容の 改善に関す る事項	5 その他業務 運営に関す る事項
方法	担当者の自己評価 内部の専門家による評価 外部の専門家による評価 その他					
指標	定性的指標 定量的指標(ベンチマークあり) 定量的指標(ベンチマークなし)					

6. 計画と評価の関連付け

どのように計画・評価を運営の改善に利用していますか。 それぞれ「**該当する**」場合は**〇、「該当しない**」場合は×を選択してください。 「その他業務運営に関する事項」の場合には に事項をご記入ください。

	1	2	3	4	5	6
	概算要求や プロジェクト 申請に利用	予算配分に 利用	組織改組に 利用	教育改善に 利用	外部への 説明責任	その他
数本の無の白しに	00	0	0	00	0	0
│ 教育の質の向上に │ 関する事項	○ ×	O ×	O ×	○ ×	○ ×	○ ×
ははる事が	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
TT	00	00	00	O O	0	00
│ 研究の質の向上に │ 関する事項	○ ×	○ ×	O ×	○ ×	○ ×	○ ×
スプリチス	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
世の写典の小羊サバー	O O	0	0	O O	0	0
業務運営の改善並びに 効率化に関する事項	○ ×	○ ×	O ×	○ ×	○ ×	○ ×
	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
財務内容の改善に 関する事項	00	00	00	O O	0	00
	○ ×	○ ×	O ×	○ ×	○ ×	○ ×
	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消	〇 取消
その他業務運営に 関する事項						

回答シート 10 / 11

7. 法人移行後、計画策定及び評価の方法に関して、どのような改善を行いましたか。
8. 国立大学法人には、自己点検評価、国立大学法人評価、認証評価の3つが義務付けられていますが(学校教育法第69条の3)、貴大学ではこれらの評価の関係をどのように位置づけていますか。該当するものに〇をつけてください。
(1)法人評価と認証評価の関係について
○ ①法人評価と認証評価を関連付け、対応している
○ ②法人評価と認証評価はまったく別なものと位置づけ、対応している
○ ③相互の関係は検討していない
○ 回答を取り消す
① を選んだ大学 は、どのように関連付けているかお書きください。
②た婴人だ十学 け、注Ⅰ証価レ認証証価がどのトラからで思かるレ ネ ラでいるかや書き/ださい
②を選んだ大学は、法人評価と認証評価がどのような点で異なると考えているかお書きください。
(2)自己点検評価の位置づけについて
○ ①自己点検評価を、法人評価もしくは認証評価と関連付け、対応している
○ ②自己点検評価と法人評価もしくは認証評価とは別なものと位置づけ対応している
○ ③相互の関係は検討していない
○ 回答を取り消す
① を選んだ大学 は、どのように関連付けているかお書きください。

回答シート 11 / 11

(2)を選んだ大学は、目己点検評価がどのような点で異なると考えているかお書きください。	
(3)これらの評価に関する課題についてお書きください。	

※計画及評価の現状を把握し、よい事例を抽出するため、貴大学における計画策定・評価実施に当たり、プロセスや方法の全体を把握できる資料として、実施要綱・マニュアル・チェックシートを一式担当までお送りください。

ご協力いただきありがとうございました。

「未回答あり」の表示がありましたら

該当設問をご確認ください。

シートの先頭へ移動

1. 長期目標・ビジョンの有無 未回答あり 1. 長期目標・ビジョンの有無へ 2. 計画策定の現状について 未回答あり 2. 計画策定の現状についてへ 3. (1)全学と部局の調整 未回答あり 3. (1)全学と部局の調整へ 未回答あり 3. (2) 文部科学省指針の利用 3. (2)文部科学省指針の利用へ 3. (3)目標達成に至るプロセスの明確化 未回答あり 3. (3)目標達成に至るプロセスの明確化へ 3. (3)実施していない理由 (回答不要) 3. (3) 実施していない理由へ 3. (4) 具体的な実施計画の策定 未回答あり 3. (4) 具体的な実施計画の策定へ 3. (4) 策定していない理由 (回答不要) 3. (4) 策定していない理由へ 3. (5)年度進行計画策定 未回答あり 3. (5)年度進行計画策定へ 3. (5)策定上の困難や課題 (回答不要) 3. (5)策定上の困難や課題へ 4. (1)中期計画の今後のあり方 未回答あり 4. (1)中期計画の今後のあり方へ 4. (2)国立大学に共通な必要項目 未回答あり 4. (2)国立大学に共通な必要項目へ 5. (1)業務実績評価の視点 未回答あり 5. (1)業務実績評価の視点へ 5. (2)業務実績評価の方法・指標 未回答あり 5. (2)業務実績評価の方法・指標へ 未回答あり 6. 計画と評価の関連付け 6. 計画と評価の関連付けへ 7. 計画策定及び評価の方法に関する改善へ 未回答あり 7. 計画策定及び評価の方法に関する改善 8. (1)法人評価と認証評価の関係 未回答あり 8. (1)法人評価と認証評価の関係へ 8. (1)具体的内容① (回答不要) 8. (1) 具体的内容①へ (回答不要) 8. (1) 具体的内容② 8. (1) 具体的内容②へ 8. (2)自己点検評価の位置づけ 未回答あり 8. (2) 自己点検評価の位置づけへ 8. (2)具体的内容① (回答不要) 8. (2) 具体的内容(1)へ 8. (2)具体的内容② (回答不要) 8. (2) 具体的内容②へ |8. (3)評価に関する課題 未回答あり 8. (3)評価に関する課題へ